

資料提供	
令和6年4月5日	
担当課 (担当)	国府町総合支所 (山川)
電 話	30-8650 (内線 6200)

## 「万葉まちづくり特命チーム」が始動!!

～若手職員のアイデアを国府地域のまちづくりに生かします～

国府町総合支所では、今年度より新たに総合支所内に「万葉まちづくり特命チーム」を設置し、若手職員の柔軟な発想やアイデアによる新たな万葉関連施策を展開・研究していきます。

この活動を通じ、国府地域の歴史・文化の更なるPRの強化と、万葉集を活かしたまちづくりの次世代への継承を目指します。

### 記

- ◆ 発足日 令和6年4月10日(水)  
※4月10日は、10:00からチームメンバーが万葉衣装を着用し、国府町総合支所内で発足式を行います。
- ◆ 実施内容
  - 国府町総合支所の事務分掌に万葉まちづくり特命チームを設けたうえで、支所若手職員を5名選抜しチームスタッフとして任命(本務との併任)
  - おおむね2回/月の定例スタッフ会議で下記に係る意見交換を実施
  - 具体的ミッション
    - ・万葉のふるさと鳥取市国府町のSNS等によるPRの強化(動画配信等)
    - ・従来の形にとらわれない斬新な万葉関連イベントの研究
    - ・保育園児・小中高校生との万葉をテーマとした交流
    - ・万葉のふるさとエリアデザインの研究 等

【背景】  
「新あらたしきとし 年の始めの初春のはつはる 今日降る雪のきょうふ ゆき いや重け吉事し よこと」

かつて因幡国の国庁が置かれた鳥取市国府町では、因幡国守として赴任した大伴家持おおとものやかもちが、万葉集の最後を飾る記念すべき歌を詠んだ地であることにちなみ、「万葉のふるさと国府」としてまちづくりを進めてきました。

令和6年度は、鳥取市因幡万葉歴史館の開館、大伴家持大賞(短歌募集事業)とともに30周年、万葉集朗唱の会は25周年の節目の年となり、小中学校や各地区公民館での万葉・短歌講座の強化に取り組むなど、本市での万葉ムードの醸成と機運をさらに高めることとしています。旧正月に併せた令和6年2月13日(火)～16日(金)には、「因幡国府万葉ウィーク」を初開催し、国府町総合支所職員が万葉衣装で勤務等を行いました。

